

1 学期の総合訪問を振り返って 一人一人の子どもを大切にする教育活動を！

今年度は、小学校6校・中学校2校の総合訪問が予定されています。
今回は、1学期に実施された、3校の教育活動の様子について、ご紹介します。
他校の教育活動の特色や工夫点を知ること、お互いに高め合うことができれば幸いです。

平泉町立長島小学校

●復興教育の推進

復興教育の目標を、「大切な一人一人」「決してあきらめない心」「支え合って前へ」「危険から身を守る」と設定し、復興全校集会(年2回、朝活動の時間に行っている)や、日々の活動の中で意識させています。また、職員の提案事項にも必ず復興教育の目標を入れています。

●郷土教育

平泉を愛し、発展を支えるための「ひとづくり」を行うことをねらいとし、各教科や総合的な学習の時間、日常生活の中で郷土の特色やよさを押さえています。また、学校として、子ども会として、積極的に地域行事にも参加しています。



●幼保小中連携の取り組み

幼保の活動を参観したり、小・中学校の授業を参観したりして、お互いの交流を図っています。また、小・中学校の場合は、授業研究会に教職員が参加し、研究内容について交流することで平泉の学力を高めるための共通理解を図っています。

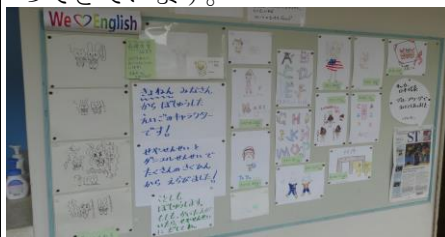
金ケ崎町立金ケ崎小学校

●英語教育の推進

金ケ崎町が文部科学省の教育課程特例校の指定を受けたことにより、全学級で英語活動を行っています。(1、2年は年間20時間、3年以上は年間35時間)

学校独自の英語に触れる活動(イングリッシュデー、ランチレディオ、児童朝会での英語コーナー、英語コーナーの掲示等)も積極的に行っています。

小学校の早い段階から英語に触れることで、子どもたちは、日常生活の中で、積極的に外国人の方々に話しかけたり、触れ合ったりすることを楽しむ姿が見られるようになってきています。



●学力向上のための指導法の工夫

個々が実践してきた「支援」を「わかりやすさのしかけ」として全体で共有化し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりをしています。

「わかりやすさのしかけ」

- ① 時間のしかけ
- ② 伝えるしかけ
- ③ 参加のしかけ
- ④ 内容のしかけ

一関市立清田小学校

●家庭・地域との連携

「清田小まなびフェスト」を各家庭と共通理解するとともに、家庭では「清田小まなびフェスト」を踏まえて、「わが家のまなびフェスト」を作成したり、ノーマディア週間に取り組んだりするなど、積極的に学校と家庭の連携を図っています。

また、「花づくりを大切にする学校」として学校の「なかよし花壇」の世話を地域の方々と一緒に行ったり、地域と合同の運動会を開催したりするなど、学校と地域の連携を図る取り組みも積極的に行っています。「なかよし花壇」は、花いっぱいコンクール(千厩地域：職場・学校の部)で6年連続最優秀賞を受賞しています。



●生徒指導の充実

小規模校の特質を生かして、思いやりの気持ちを育てる方法の一つとして、異年齢集団による活動(月1回のゲーム集会、縦割り清掃等)を充実させています。また、どの子どもにも活躍の場を与えるよう配慮しています。



授業で大切にしたいこと！

《坂川孝志所長の挨拶より》

- ・一人一人にしっかり考えさせ、活動を保障すること (学習課題の吟味と構造的な板書)
- ・一人の考えを全体に返し、広め、深めること (担任も入り子どもと一緒に作る)
- ・学びを実感できる授業を！ (わかった、できた、使える)